

2009年3月31日発行

## 代表質問

3月の1日の日曜日、**休日議会**が開かれ、各会派の代表質問が行われました。政和会(自民)・**並木傑**、公明党・**亀田博子**、共産党・**笠原進**、刷新の会(無所属・民主)・**平松大佑**、語る会(無所属)・**たかむらともや**の順番で「**市長の施政方針**」に対する質問が行われました。

語る会・たかむらともやは**16項目**に渡り質問しました。その中のいくつかを紹介します。

## 3つのアップに?

1. 市長は「**職員力、教育力、市民力**のアップを基本とした、魅力あるまちづくりを実現する」と言っていますが、市民が生き生きと暮らせる街と言うのなら、公民館やコミセンはその設立目的から言っても無料ですべきだし、**環境や教育にもっと予算を投入すべき**です。

\*新座市の中学生一人当たりの教育予算は首都圏90都市(人口10万人以上)の中で**最下位**です(サンデー毎日11月号)。確かに耐震補強工事は23校全て終わっていますが、大規模改修工事は予定年度より大幅に遅れ、毎年出される各小中学校からの改修・改善要望にも殆ど応えられていないのが現状です。

「**財政難**」のツケが教育現場に与える影響は大です。公民館・コミセンといった「社会教育」を支える施設は設置目的から言っても使用料は「無料」が原則。その使用料は年間1300万程度。市長・議長・教育長の**公用車を廃止**すれば楽に無料にできます。今年度の下水道の値上げ額は実に年間1億5000万。市民に税の負担をお願いするだけで、市民のまともな要望には応えないのでは何のための政治か分かりません。「市民力アップ、教育力アップ」はいつものように掛け声だけ。**予算が伴わなければ意味がありません。**

## 公立保育園の新設・増設を!

5. 施政方針で市長は「多様化する保育園需要への対応を図るため、**民営化**も視野に入れ、公立保育園のありかたについて検討していく。」と言っています。社会が不安定な今こそ、公立保育園の新設・増設が求められているのではないのでしょうか。

\*保育園の**待機状況は酷い**ものです。昨年11月末で**194名**となっています。「働きたくても、保育園に入れなくて働けない。」「なかなか入れないので高くても遠い民間の保育所に預けて働いたら、**赤字**になってしまった。」「仕事は続けたい。でも、働けば**赤字**になるんです!」「保育園に何とか入れないのでしょうか。」そういう切実な声が沢山聞こえてきます。そういう時こそ、政治の出番なはず。市民から頂いた税金を市民の為に使っていく。そして、そのことが市の財政にもプラスに繋がっていく。公立保育園はまさにそういう役割を持った施設ではないのでしょうか。学童保育の大規模問題といい、保育園の待機児童の問題といい、とても「**子育て応援都市**」とは思えません。新座駅北口の**区画整理(128億)**をやめても、**保谷・朝霞線(100億)**を造らなくても、**保育園の新設は十分可能**なんです。



写真はひかり第二保育園。夕方、子ども達と保育士さん達が楽しそうに遊んでいました。親は大安心。保育園は働く親にはなくてはならない施設です。